## 寄稿　私の戦争体験〈22〉

戦争体験手記募集を見て、お寄せいただいた手記を順次掲載しています。

### 断片記憶「堺大空襲の夜」

松原市　鍋嶌考之介（昭和15年堺市戎島町生まれ）

戦後73年、戦争には特別な思いがあります。父方の叔父・従兄そして兄弟で6人が招集され出征、3人が戦死しています。そして私自身も爆撃や堺大空襲で、今思えば死の危険にさらされました。

戦争、いや恐怖そのものさえわからない、5歳半の幼児に加えられた衝撃です。そして「焼け野が原」のバラックや、ひもじかったこと、翌春、堺港北波止の高射砲隊兵舎が教室の学校へ入学など、断片的に次々と思い出されてきます。

空襲前のことでは、一軒おいた隣の家に爆弾が落とされ、幸い不発だったが母と避難した家の前の防空壕は入口が埋まり、警防団の人に助け出された。大きな石が飛んできて、我が家の奥の間の天井が抜け、青空が部屋の中から見えたことを憶えている。「爆発してたら、あんた今頃居てへんわ」とは姉の言。

空襲の夜は、警戒警報、空襲警報が発令されたのだろう、夜中に起こされ「防空壕へいくんやで」と母が防空頭巾の紐を結んでくれたことは、おぼろげながら憶えています。成長してからの記憶への刷り込みだろうか。いや、やはり記憶だろう。何故ならこの時以降、防空頭巾を被ることは二度となかったのだから。

焼夷弾爆撃で火焔が迫り、「ここはもうあかん、逃げよう」との大人達の緊迫した様子が子ども心に残っている。

防空壕から出た瞬間、一番先に私の目を覆ったのは「空が真っ赤だった」ことだ。空、全部が真っ赤だった。桃色の濃い赤色だった。それが透き通って見えた。その中にごく小さく飛行機の編隊が銀色に光っていた。この光景だけは記憶から消え去らない。

後、気づいたのは難を避けた工場の煉瓦塀に張り付いて、白々あけの朝を迎えた頃だろう。まだ少し煙に包まれていたが朝の光を憶えている。家族はみんな怪我もなく揃ったようだ。ものすごい異臭につつまれながら、なにもかも完全に焼け果てているなかを歩いた。

何もないただ焼けた瓦と壁土の小山が続き、台所の竈だけが高くなって、家が並んでいたことがわかる。歩いているとき大人の人が、私の傍にあった道端の焼けトタンをめくった。そしてまたすぐ被せた。消し炭、人型、子ども、手をつないだ2人、一瞬のことだが、私にはこの順でそれが解ったように思う。母にしがみついていた。

我が家跡と思われる付近で、台状の石の上にランドセルを胸に抱いて子どもが寝かされていた。鉄のつぶてを投げ合って遊んで貰った隣のお兄ちゃんだった。私はその場でしばらく立っていたように記憶している。「この子はきれいに死んでいるな」と通りがかりの人が話していた。

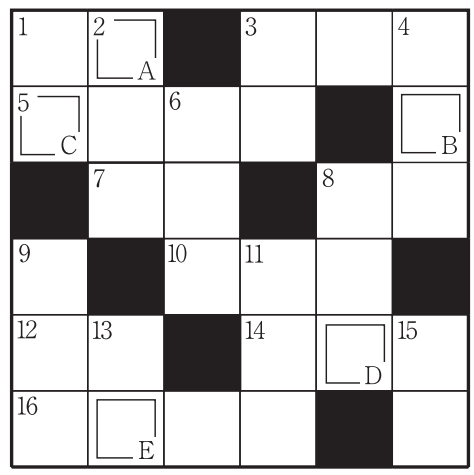
＊資料によれば堺大空襲により、我が家の所属宿院町会（3小学校区）5339戸中、4928戸が全焼、死亡行方不明1291人に及んでいる。

願いは「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意し（憲法前文）」なければなりません。戦争は人を殺すことです。遠い他国であっても身の回りであっても、ましてや民間人、子ども達が必ず犠牲になります。

『憲法9条を守りましょう』

## お楽しみクイズ　クロスワードパズル

カギを解き、二重ワクに入る文字をＡＢＣ順に並べてできる言葉は何？




**タテのキー**

①――に入っては――に従え
②自分で食事を作る――生活
③改善の――がある
④車は――に停まれない
⑥赤字の対
⑧得意科目は――と社会
⑨青年よ――を抱け
⑪――で散髪してもらう
⑬鬼が出るか――が出るか
⑮♪――は広いな大きいな

**ヨコのキー**

①――脱字はご容赦を
③陰気の対
⑤関西ではよく――醤油を使う
⑦疲労の――が濃い
⑧法律で条の下位
⑩自業――
⑫心根。――悪
⑭新鋭と――との激突
⑯――住まい

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ト | キ | ■ | マ | キ | エ |
| シ | ガ | ケ | ン | ■ | ノ |
| ■ | ク | イ | ■ | ア | キ |
| ク | ■ | シ | サ | イ | ■ |
| ワ | ラ | ■ | コ | ジ | マ |
| ケ | ン | マ | ク | ■ | ク |

●７月号の答
「アマノガワ（天の川）」
●応募数／80通

●応募方法／郵便ハガキにクイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・友の会に対するご意見等を記入のうえ、
●あて先／〒590－0821　堺市堺区大仙西町6丁184－2　友の会事務局「お楽しみクイズ」係あてにご郵送ください。
●しめきり／2018年10月10日（水）消印有効
●当選発表／厳正なる抽選の上、10人のかたに賞品（図書カード500円分）を。賞品の発送をもって発表に替えさせていただきます。
●クロスワードパズル解答はがきに書かれた「ご意見」は、紙面に掲載させていただくことがあります。ご了承ください。

## 俳句

炎熱の　泥掻く八十路　生き抜かん
～西日本豪雨災害に遭われた高齢者が炎熱の酷暑に負けずに復興に立ち向かっている様～
安村　和義

ビル谷間　風の動きて　鳥巣立つ
～つばめは上手に巣をつくる。風と共に去る。～
柿本　初野

## 川柳

見せかけの　画餅はいづれ　崩壊す
～ＩＲ計画～
安東　利彦

## 短歌

夏休み　郷園の朝空澄みて
気持ち晴れやか　鳥訪ね来し
手嶋喜代子

扇風機　首振り優しさ弱の風
臼寿の母に　子守唄のよう
宮本　真砂

99歳の母はクーラー嫌い。扇風機冷風扇で熱中症予防

＊句を詠む時の情景や思いもお寄せください。
＊俳句・短歌・川柳の次回締め切りは、2018年10月10日（水）です。
＊特に、俳句・短歌のご応募お待ちしております。

## 秋の強化月間に向けて

# ９月は月間の準備期間

## 目標達成に向けての準備を！

今年の夏は〝超異常気象〟とも言われ今まで体験したことがない被害が全国的に起こりました。残暑厳しい折の中、友の会の皆さんには、日頃友の会活動にご協力いただき感謝します。それとともに、皆さんにおかれましては十分体調管理に気を付けて過ごしていただくよう、強く願っています。

さて９月は秋の拡大強化月間（10月～11月）に向けての準備期間です。９月９日、10日に横浜で開催される「全日本民医連共同組織活動交流集会」にも同仁会から友の会や職員含めて26人が参加予定しております。全国の仲間と学び、そして元気を分かち合ってきます。

地域の健康づくりやまちづくり、そして憲法を守り社会保障制度の充実を進める中で健康友の会みみはらの組織をさらに大きくするためにも、秋の拡大強化月間はとても大切な月間です。

秋の月間では拡大強化月間運動方針案に基づいて、友の会４課題・組織課題のそれぞれ目標達成に向けて取り組みます。そのためにも月間の準備期間と位置付けている９月に各ブロック・各支部、そして職員と共に討議と準備を行っていきましょう！

（健康友の会みみはら　会長　江戸　道子）

## 編集後記

特に今年の夏は暑かった。猛暑と言うよりは「酷暑」。雨の降り方や、台風のコースなど、ここ数年で気象の変化が大きく今までとは異なり、日本だけでなく世界的に温暖化が進んできているのを肌で感じる。国レベルでもそうだが、市民レベルで早急に対策をとらないと…　（安部　公）